

団体・組織の概要

太枠内、必須事項。その他は、該当する項目を記載してください。

団体/会社名	NPO 法人青森県環境パートナーシップセンター		
代表者	代表理事 有谷 昭男	担当者	久保田勝二
所在地	団体 〒030-0831 青森県青森市新町 1-13-7 和田ビル3F TEL:017-721-2480 FAX:017-723-7631 E-mail: info@eco-aomori.jp 担当者 〒036-8371 青森県弘前市大字蒔苗字樋田 21-2 TEL・FAX:0172-97-2157 E-mail: carekilledtheecat@yellow.plala.or.jp		
設立の経緯 / 沿革	環境パートナーシップに関し、青森県環境政策部門と研究者・民間関係者の協議により、 設立 平成 14 年 8 月 18 日(NPO 法人) 承認 平成 15 年 1 月 30 日 平成 17 年 5 月 12 日から「青森県地球温暖化防止活動センター」として認定。 平成 21 年度 認定更新(向こう 5 年間)		
団体の目的 / 事業概要	青森県を主要な活動地域とし、住民・市民活動団体・事業者・行政などに対し、各活動主体が 対等な立場で役割を分担し、相互に協力・連携しながら、環境を保全・再生・創造する活動を実 践していく関係(環境パートナーシップ)の構築に関する事業を行い、環境問題の解決と持 続可能な循環型社会の形成に寄与することを目的として設立。 個別の主体が単独では入手しにくい資源や機会を提供して、パートナーシップを担う各主体の 力量を向上させる中間支援の役割を果たす。		
活動・事業実績 (企業の場合は環 境に関する実績 を記入)	平成 22 年度	平成 21 年度	平成 20 年度
	家庭部門における CO2 削減アド バイス事業及び地球温暖化防止 活動団体連携強化事業(環境省)	温暖化一村一品知恵の輪づくり アースレンジャー研修 温暖化防止普及啓発・広報	温暖化一村一品知恵の輪づくり アースレンジャー研修 温暖化防止普及啓発・広報
	農業高校を拠点とした北東北温 暖化防止地域ネットワークの形成 (地球環境基金)	「農業高校を拠点とした温暖化防 止地域ネットワークの形成」 (地球環境基金「発展助成」)	
ホームページ			
設立年月	平成 14 年 8 月 18 日 * 認証年月日(法人団体のみ) 年 月 日		
資本金/基本財産 (企業・財団)	0円	活動事業費/売 上高(H20)	31,153千円
組 織	スタッフ/職員数 5 名(内 専従 0 名)		
	個人会員 24 名	法人会員 3 名	その他会員(賛助会員等) 名

政策のテーマ

子供アースレンジャー創設・認定書

- 政策の分野
 - ・ 環境問題の解決に向けた協働手法
 - ・ 担い手の継承づくり
- 政策の手段
 - ・ 人材育成・交流
 - ・ 環境パートナーシップ形成促進

団体名： NPO 法人青森県環境パートナーシップセンター
担当者名：久保田勝二

■ キーワード	子どもから	子供レンジャー	子供推進員認定証	担い手	後押し役
---------	-------	---------	----------	-----	------

政策の目的

地球温暖化防止に向けた普及啓発活動の視点を、子供達を目線で捉えた地球環境の問題点とその解決策を家庭内に浸透させることを目的とする

背景および現状の問題点

- 背景
 地球温暖化は急速に進行しています。
- 現状の問題点
 これに対する地球温暖化防止対策はいろいろな方面で、いろいろな形で取り組まれています。にもかかわらず活動の内情はあまり知られていないのが実態です。しかし、子供達は地球環境の問題点に対して敏感に反応しています。一方、大人の反応は子供達の期待するほどではないように見受けられます

政策の概要

「子供アースレンジャー」の創設と「子供アースレンジャー認定書」の発行。

青森県では、地球温暖化防止活動推進員を「あおもりアースレンジャー」と名付け、多くの人々にその名が印象に残るようにと活動手法をとっています。

小学校での環境出前授業や環境出前講座の実施終了後、子供たちからの叫び声として「僕たちもアースレンジャーになりたい」と要望が出されることが多いことです。

地球温暖化防止活動推進員とは、地球温暖化対策の推進に関する法律第23条に規定されている事項から、「地球温暖化防止に向けた活動の推進に熱意と識見を有する者の内から」とあるように明らかに相当に知識を有するもので、かつやる気のあるものと解釈されることから、子供を対象としていないと読み替えできます。これは「熱意と識見を有する者」が他の大人たちへ普及啓発を行う方向性となっていると言えます。

ここで、もう一步踏み込んだ形で「子供地球温暖化防止活動推進員」の創設することです。その目的は、普及啓発の方向を子供たちから子供たちへ、更に大人へと向けることにあります。

地球環境問題は、子供達にはよく知られていることです。また、この問題の解決策についても子供たちの方が遥かに受け入れやすく、家庭内で話題に取り上げられやすいこと。学校でも家庭でも会話の場が多いと考えられ、かつ期待できるからです。

子供たちには将来へ向けたメッセンジャーとしての位置づけができ、子供地球温暖化防止活動推進員すなわち「子供アースレンジャー」として期待できることと、子供たちの未来に向けたこれらの行動が大人たちの意識改革へと結びつくと考えられることです。

政策の実施方法と全体の仕組み（必要に応じてフローチャートを用いてください）

○ 政策の実施方法

地方自治体及び全国に散在する国及び県の指定もしくは認定された環境保護団体が、子供向けに実施する出前授業、環境教育、現地実習などで子供たちが取得した知識および技術を認定する証として、「子供アースレンジャー認定書」を発行する

○ 全体の仕組み

子供アースレンジャー認定証

（例：買い物レンジャーの部門）

日本国太郎 （学校名）

認定期日 2011年03月23日

認定機関 例 ストップ温暖化センターあおもり

承認機関 例 ○○県・市・町環境政策部環境政策課

規則に基づく認定証であることの認定に関わる条文を書き添える

政策の実施主体（提携・協力主体があればお書きください）

- 子供アースレンジャー認定書の発行に関わる政策の実施主体は、地方公共団体が主催する出前授業等の事業の実施主体である各自治体の環境政策部門及びその指定機関とする
その指定機関とは、国及び県が指定もしくは認定した環境保護団体とする。

- 認定書発行に関わる経費についてはいろいろの機関からの支援が必要となるでしょう

1. 国の環境基金のからの支援策を検討する
2. 金融機関の環境基金の活用を検討する
3. その他ボランティア等の環境基金の活用を検討する

- あおもりアースレンジャーのメンバーで構成する「あおもりアースレンジャーつがるの会」は任意の団体ではあるが、この提言に関わる政策に対して強力に協力することとする

「あおもりアースレンジャーつがるの会」は、NPO 法人青森県環境パートナーシップセンターが行う地球温暖化防止推進活動に対して協力することを目的として、平成16年に結成された任意団体である

政策の実施により期待される効果（具体的にお書きください）

「子供アースレンジャー」の創設により、地球環境に対する子供たちの意識に変化が生じること。また、学校内及び家庭内で温暖化防止に関する重みのある話題の展開が期待できることです。特に、幼稚園や小学校の中・低学年ではその受け方が顕著に表れる。高学年にあっては深く理解しており、討論の場では議論が交わされることがしばしばであること

家庭内で地球環境問題を話題とすることができるのは、子供たちによる方がその量は遥かに多いのです。家庭内の意識付けや、気づき、に最も努力しているのは子供たちであろう。子供たちはこれらの体験を通じて地球環境保全の将来の担い手となり得ることへの期待感もあり、さらに担い手育成に関わる大人の後押し役も増えると考えられることです。

「子供アースレンジャー」の範囲とするにはちょっと難しいが

中学校にあっては、高校受験とあって、出前授業を受け入れるところは少ない。しかし、高校生ともなれば、地球環境とりわけ地球温暖化対策に関する研究そのものに取り組んでいるケースがあり、よって高校ではその学科単位で出前授業を受ける場合が多いが、「子供アースレンジャー」には成りえないものとする。

その他・特記事項

「子供アースレンジャー」の認定のコース分類は、各環境保護団体の取組みに関わるものとする。

例 ごみレンジャー、省エネレンジャー、買い物レンジャー、水レンジャー、森レンジャー、魚レンジャー、むだレンジャーなどなどいろいろある

「子供アースレンジャー認定書」の発行に当たって、認定内容にランク付けも可能。

1項目では○○レンジャーとし、2項目～5項目の範囲ではレンジャーサポーター、6項目～10項目ではレンジャー専門員、11項目を超える場合はレンジャー大臣やレンジャー博士などと名称をランク付けするのも子供達の楽しみともなるでしょう

特記事項

「子供アースレンジャー」を創設し、認定することにより、子供たちの意識の高揚が図られるとともに、学校内で子供アースレンジャー活動の発表大会が期待できる。また、学内から地域全体へ、そして全県へと拡大することにより、事業の規模が拡大する可能性がある。更に全国大会へと発展することも考えられ、運営に当たっては多くの環境基金からの支援を期待したい。